

あべのハルカス

近鉄グループホールディングスは、運営する日本一高いビル「あべのハルカス」（大阪市阿倍野区）に若いカップルを呼び込む取り組みに力を入れている。夜景が一望できる地上300メートルの展望台でデートし、結婚式を挙げ、新居の家具をハルカスに入る近鉄百貨店本店でそろえる。大阪の「恋人の聖地」として、若い人にアピールしていく考えだ。

東京駅前ではハルカスの高さを超えるビルの建設計画が浮上したこともあり、「高さ日本一」に代わるセールスポイントを速やかに見つけることが課題だ。若いカップルに着目したのは、末永く顧客になってほしいとの思いがある。

特設バージンロード

9月上旬、展望台「ハルカス300

地上300メートルの「恋人の聖地」



0」に特設のバージンロードが登場した。10月から展望台での挙式プランを始めるのを前に、天気が良いれば淡路島や京都、生駒山などが見渡せる「空中チャペル」で、関係者ら

展望台でデート、結婚式

に模擬結婚式を公開した。

新郎役を務めた大阪府八尾市の会社員土手川裕作さん(32)は「開放的で気持ちいい」。式場選び中で見学に訪れた神戸市東灘区の会社員荒木直子さん(31)も「遠方からの参列客に喜ばれそう」と気に入った様子だ。挙式プランには、近鉄本店専属の担当者が結婚指輪や新生活に向けた家具選びなどを手伝うサービスも付けた。

9月には、地域活性化に取り組む静岡市のNPO法人から「恋人の聖地」認定を取得。今夏まで開催した夜景に3D映像を重ね合わせるイベントも、カップルらに好評だったため第2弾を検討中だ。

運営主体の近鉄不動産は「今後も夜景や眺望を生かした催しを積極展開したい」と意気込む。

「あべのハルカス」の展望台で行われた模擬結婚式

大阪府